



りんごの郷 エンジョイ生活 R5

日頃は、特別養護老人ホームりんごの郷の運営にあたり、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様には温かいご支援・ご協力を賜りまして心から厚くお礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、ご逝去された皆様のご冥福をお祈りし、皆様方には大変なご心配とご迷惑をお掛けしたことお詫び申し上げます。

また、新型コロナウイルス、ロシアによる侵略戦争、物価高、電気代の高騰など、大きな困難が波のように打ち寄せた昨年度でした。そのような中で、12月10日に開設20周年を迎えました。これもひとえにご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員のご支援の賜物と感謝しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は甚大で、サービス提供のあり方も望まない形で大きな変化を強いられました。未だ根本的な対応策は見いだせず、緊張感を持った対策を日々続けなければならない状況ですが、本年は分類が変わり、それに伴い様々な対応や生活に変化がもたらされる年になると予想されます。そのような状況ですが、引き続き高齢者入所施設といたしましては、感染レベル、状況を勘案しまして、面会制限や各種委託業者の出入り制限を行い、職員の感染予防対策はもちろんのこと、感染源を持ち込まないための最大限の努力をさせていただきたいと考えています。ご不便をおかけする場面もありますが、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

当施設も今年に入り感染症に注意を払い外出の行事を再開しています。「まるごとりんご」等を通じて情報発信していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

結びになりますが、利用者・職員ともに「ありがとう」の言葉で幸せを感じ笑顔になれる施設、職員も介護が楽しいと思える施設を目指し、微力ではございますが職務に精励して参りたいと存じますので、今後とも皆様方にはご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人ジェイエー長野会

特別養護老人ホームりんごの郷施設長 関 正行





アグリながめま様のご厚意により、3月初旬に[いちご狩り]を実施できました。コロナ禍で施設行事も実施できず、昨年のりんご狩りも途中でコロナが発生してしまい中断せざるを得ない状況だったのでご利用者の皆さんにとって久しぶりの外出行事となりました。企画をアグリながめま様にお話ししたところ快く受け入れを承諾ください。コロナ感染対策のため、実施日は終日いちごハウスを貸し切りにして下さいました。本当にありがたいご配慮にただただ感謝しかありません。職員も久しぶりの外出行事でそれもいちご狩りが実現するなんて思いもよらなかったようで「いいな～私も行きたいな」「いちご狩りなんて行ったことないんですよ。」と。ご利用者の皆さんの喜ぶ姿を思い浮かべテンションが上がります。企画では感染対策のため、いちごは施設に持ち帰り召し上がっていただく予定でしたが目の前のいちごの魅力には勝てません。予定を変更しその場でいちごを召し上がっていただくことにしました。「大きいいちごだね～」「いちご狩りなんて初めて」と皆さん満面の笑みでハウス内を散策し一息入れたところで念願のいちごをパクリ。ハウス内にいちごの甘酸っぱい香りが漂います。「美味しい!」「甘～い」と思わず漏れてしまう声が聞こえてきます。



付き添い職員に「あんたも食べて」とご自分のいちごを勧めて下さる方もいて、職員から来年は職員も一緒に食べれるように企画して下さい!と早速要望が上がりました。コロナが終息しご家族の皆さんにも参加いただければいいな…と来年への期待は膨らむばかりです。「いちご狩りなんて行かないよ!家に帰れば畑にあるもの。」と言われた方も施設に戻られると甘酸っぱい香りを振りまきながら「あんなに大きいいちごは家では取れないよ。甘くて美味しかった。行って良かった。」と誘った職員に感謝して下さいました。体調の関係でハウスに行けなかった方もいちごを堪能していただきました。





今回のいちご狩りは特養利用者・ショートステイ利用者合わせて 80 名近くの方に参加
いただきました。アグリながめ様には本当にお世話になりました。
ありがとうございました。





ご利用者ご家族様より

「目の保養になれば…」とお花をいただきました。

早速、玄関前の花壇に植えさせていただきました。ご利用者が外に出た際は、職員も一緒に楽しませていただきます。沢山のお花を本当にありがとうございました。



今ちょうど見頃の桃の花を近隣の方からいただきました。「きれいだねえ」とご利用者の皆さんうっとり…思わぬお花見に春を満喫できました。ありがとうございました。



令和5年4月11日発行
社会福祉法人 ジェイエー長野会 北信地域事業本部
特別養護老人ホーム りんごの郷

